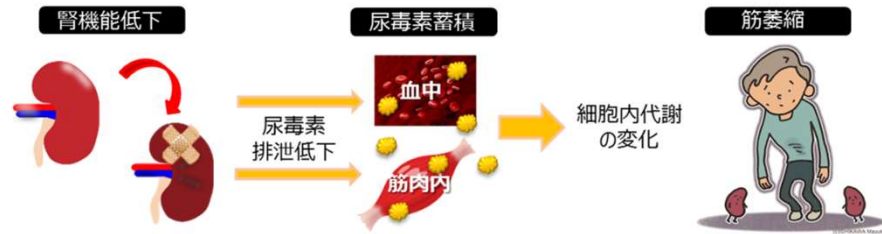
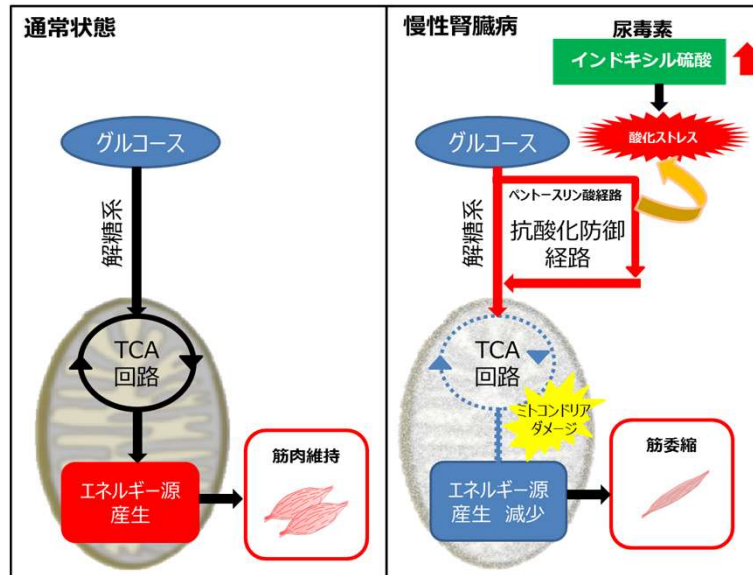


腎臓病患者で筋肉の萎縮が起きる機序を解明



■ 慢性腎臓病は成人8人に1人が有する国民病であり、その多くの患者が筋力・筋量が低下する筋萎縮が合併している。しかし、筋萎縮の発症機序が不明であり治療法がないのが現状である。

→ **発症機序を解明し、治療法を確立することが重要な課題**



- 腎機能が低下し体内に蓄積した尿毒素が細胞内代謝に異常を引き起こし、筋萎縮の発症に関与
- 慢性腎臓病における筋萎縮発症機序解明は、筋萎縮の発症・進行を予防するための新薬開発に大きく貢献

開発・推進

東北大学薬学研究科 臨床薬学分野

参考資料等

Sato E. et al., Metabolic alterations by indoxyl sulfate in skeletal muscle induce uremic sarcopenia in chronic kidney disease, Scientific Reports, 6, 36618, 2016